

餅のある くらし

餅は 神様への お供えもの

津軽の12月(旧暦)は、神様の誕生日(年取り日)が目白押し。1日はお岩木様、2日は羽黒様、6日は弁天様、12日は山の神様など。それぞれの神様の年取り日には、しとぎ餅や豆料理、お酒などを神棚へお供えます。

お餅と酒は神様の大好物



白鍋餅

今年は豊作?

餅で豊凶を占う 鬼神社の七日堂祭

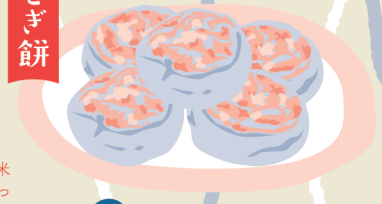
鬼神社で毎年旧暦1月29日に行われる七日堂祭は、大きな餅をひっくり返して、餅にくっついたお米の量で、今年の稲の豊凶を占います。

四羊餅



江戸時代から続く津軽地方のおやつ。

しとぎ餅



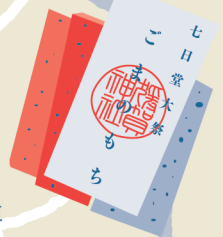
しとぎ餅&しとぎ鍋

しとぎ餅は神前に供えるお餅。お米を粉にして、水でこねて、餡をたっぷり入れます。昔は各家庭にしとぎ餅専用の「しとぎ鍋」がありました。いろりでカリッと両面を香ばしく焼いたお餅は最高のおやつでした。

餅をまく 猿賀神社の七日堂祭

旧暦の1月7日、猿賀神社では、ごまが入った紅白餅を境内の木の上から集まった人々にまきます。人々は無病息災を願い、手を伸ばしてお餅を取り競います。

ごまの餅まき



ごはんを潰して

生地をこねこね

片面を焼いたらがばっと裏返す

4 もち処一ス

5 甘栄堂

6 JR弘前駅

7 三笠屋餅店

8 戸田うちわ餅店

9 福田もち屋

10 ジンレリア農園&工房

11 寺山餅店

12 道の駅いなかだて

13 産直センターひらか(アグリアス)

14 やぎはし餅菓子店

津軽で 大人気のお餅

餅米を煎って、粉砕した粒を再度煎り、大福にまぶしたのがあさか餅。津軽のお餅屋の代表的な人気商品です。

あさか餅



お餅専門店の 自慢の味覚

津軽には、お店ですいたお餅や餅菓子を販売している小さな「もち専門店」がたくさんあります。

うんべい



お祝いを彩るお餅

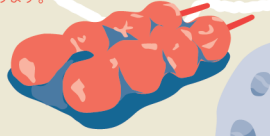
もち米の粉を炒った「うんべい粉」で作る華やかな色合いのうんべいは、結婚式などお祝い事のお菓子として重宝されています。

がっぱら餅

残りものを大切に おやつにしたお餅

がっぱら餅は、「米の糊」を作った際の残ったかすを無駄にせず、砂糖やごまをまぜて焼いた昔ながらの農家さんのおやつです。生地を鍋に「がばっ」と移して焼くことからこの名前になったとか。

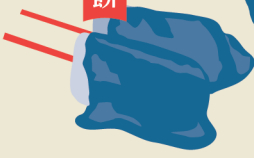
串団子



豆大福



うちわ餅



アクセス

- JR「弘前駅」⇒バス約40分(鯉ヶ沢線・堂ヶ沢線)、「鬼沢」バス停下車、徒歩約5分
- 弘南鉄道弘南線「津軽尾上駅」⇒徒歩約15分
- 弘南鉄道大鰐線「石川駅」⇒徒歩約5分
- JR「弘前駅」⇒バス約20分(弘前～板柳線 三世寺経由他)「浜の町三丁目」バス停下車徒歩約1分
- JR「弘前駅」⇒徒歩約11分
- JR「弘前駅」⇒徒歩約15分、弘南鉄道大鰐線「中央弘前駅」から徒歩約7分
- 弘南鉄道大鰐線「中央弘前駅」⇒徒歩約7分
- JR「弘前駅」⇒バス約20分(弘前～相馬線等)「茂森新町」バス停下車徒歩約2分
- 弘南鉄道大鰐線「弘前学院大前駅」⇒徒歩約7分
- 弘南鉄道弘南線「津軽尾上駅」⇒徒歩約30分
- 弘南鉄道弘南線「黒石駅」⇒徒歩約10分
- 弘南鉄道弘南線「田舎館駅」⇒徒歩約11分、「田んぼアート駅」から徒歩約5分
- 弘南鉄道弘南線「平賀駅」⇒徒歩約17分
- 弘南鉄道大鰐線「大鰐駅」⇒徒歩約6分

※この地図は2022年12月に作成されたものです。地図の縮尺と距離は実際とは異なります。訪れる際は住所等を参考にしてください。